

このたび、校友会誌は、本号で通算して101号を数えることを契機に、全面的にリニューアルし、名称も「鳳翼」として発刊いたしました。

これまでの「アドニス」同様、年4回の発行をしておりますので、引き続きご愛読の程、よろしくお願い申し上げます。

さて、校友会は、毎年度4千数百人の卒業生を正会員として迎えており、現在、会員数が31万人を超える大所帯になってまいりましたが、校友全員の共通した願いは、母校である専修大学と石巻専修大学の限らない発展を一途に期待していることではないかと思えます。

このことは、校友相互の親睦を図りながら、母校の発展に協力するという校友会の目的そのものに合致いたしますので、校友会誌もその目的に則して一層の充実を図るためリニューアルしたものであります。そのため、名称につきましても大学に因んだ名称といたしまして、校歌二番の冒頭の節にあります「鳳の翼、両手に開き……」をイメージに「鳳翼」とした次第です。

また、近年は、ネット社会の急激な進展により、校友会も、支部ホームページの設置や速報性が必須のニュースには各種のネット手段を活用するなど「ネットでも繋げよう校友会」を合い言葉に、ネット活用を推進しております。このため、今回のリニューアルに合わせて、校友会誌とネット等その他の情報媒体との役割と機能の分担を一層明確にし、全体として適切・効果的な情報提供が出来るように努めていく所存であります。

つきましては、皆様にはリニューアルした「鳳翼」の未永いご愛読を重ねてお願い申し上げますとともに、これをご活用いただき、支部活動の充実等校友会の活性化に繋げて頂くことを心から期待しております。

結びに、昨年12月には、校友会組織の改革により、地方選出副会長の増員、「親善大使」の設置、執行部会の強化、更には支部と本部との連携促進などの組織体制の強化を図りました。今後は、今回の「鳳翼」の発刊と併せて、新しい体制を効果的に機能させ、校友会の一層の活性化を図りながら、母校の発展に力強い支援協力が出来るようにしてまいりますので、今後とも、校友会の運営にご理解とご支援・ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

校友会誌「鳳翼」(ほうよく)

の発刊を記念して

専修大学校友会会長

桃野直樹

